



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002163519 A**(43) Date of publication of application: **07.06.02**

(51) Int. Cl.

**G06F 17/60**(21) Application number: **2000357584**(71) Applicant: **NTT COMWARE CORP**(22) Date of filing: **24.11.00**(72) Inventor: **TOJO YOSHINOBU**

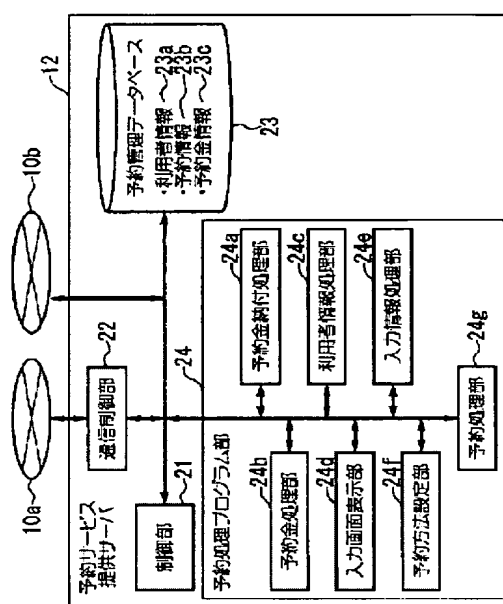
(54) **RESERVATION SERVICE PROVIDING SERVER,  
RESERVATION SERVICE PROVIDING METHOD  
AND ITS STORAGE MEDIUM**

## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a reservation service providing server, a reservation service providing method and its storage medium which ensure a user's reservation by applying a simple method for demanding payment of a user who has cancelled his reservation.

**SOLUTION:** A reservation managing database 23 stores deposit information 23c for each user. Each time a user makes a reservation utilizing the reservation service, a deposit processing part 24g deducts a certain predetermined amount involved in the registration of the reservation from a balance of the deposit which is the deposit information 23c for the user referenced from the reservation managing database 23.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-163519

(P2002-163519A)

(43)公開日 平成14年6月7日(2002.6.7)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 2	G 0 6 F 17/60	3 2 2 5 B 0 4 9
	3 0 2		3 0 2 C
	3 3 2		3 3 2
	5 1 2		5 1 2

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2000-357584(P2000-357584)

(22)出願日 平成12年11月24日(2000.11.24)

(71)出願人 397065480

エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社  
東京都港区港南一丁目9番1号

(72)発明者 東條 好伸

東京都港区港南一丁目9番1号 エヌ・テ  
ィ・ティ・コムウェア株式会社内

(74)代理人 100064908

弁理士 志賀 正武 (外2名)

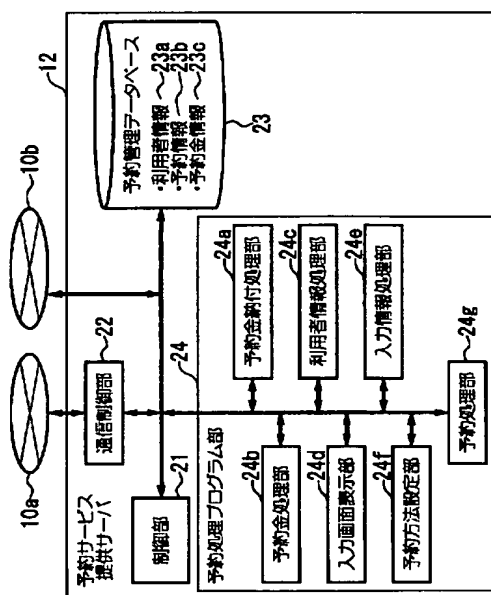
Fターム(参考) 5B049 AA02 AA06 BB11 CC06 CC36  
DD01 EE02 FF03 GG02 GG04  
GG07

(54)【発明の名称】 予約サービス提供サーバ、予約サービス提供方法およびその記録媒体

## (57)【要約】

【課題】 予約キャンセルした利用者に簡便に課金することで、利用者より確実な予約を受ける予約サービス提供サーバ、予約サービス提供方法およびその記録媒体を提供する。

【解決手段】 予約管理データベース23は、各利用者の予約金情報23cを格納する。予約金処理部24gは、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベース23より参照される該利用者の予約金情報23cである予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より前記予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供サーバにおいて、

前記予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金情報を格納する予約管理データベースと、

利用者が前記予約サービスを利用して予約する度に、前記予約管理データベースより参照される前記利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算する予約金処理手段とを具備することを特徴とする予約サービス提供サーバ。

【請求項 2】 予め各店舗の前記店舗端末より利用者情報を登録させる利用者情報処理手段と、

前記店舗に固有の店舗 ID と関連付けて前記利用者情報を更に格納する前記予約管理データベースと、

前記利用者へ予約したい店舗の指定と利用者 ID およびパスワードの入力を促す入力画面を前記利用者端末へ表示する入力画面表示手段と、

前記利用者により指定された店舗の店舗 ID と関連付けられて前記予約管理データベースに格納される前記利用者情報を基に、前記利用者より入力された利用者 ID およびパスワードの正誤を検証する入力情報処理手段とを更に具備することを特徴とする請求項 1 に記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 3】 予め各店舗の前記店舗端末へ予約方法の設定を促す予約方法設定手段と、

前記入力情報処理手段で正しいと検証された利用者へ、前記店舗端末より設定される予約方法での予約を促す予約処理手段を更に具備し、

前記予約管理データベースは、前記利用者により予約された予約情報を店舗 ID と関連付けて更に格納することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 4】 前記予約管理データベースは、前記利用者 ID と関連付けて予約金の残高を示す予約金情報を更に格納することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 5】 前記予約方法設定手段は、予約時間から決められた一定時間を過ぎると予約取り消しとなる旨を前記利用者端末に表示し、該一定時間を任意に設定できることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 6】 前記予約方法設定手段は、予約締め切り時間を、任意に設定できることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 7】 前記予約方法設定手段は、各店舗における全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できるこ

とを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の予約サービス提供サーバ。

【請求項 8】 ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より前記予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供方法において、

前記予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金情報を予約管理データベースへ格納するステップと、

10 利用者が前記予約サービスを利用して予約する度に、前記予約管理データベースより参照される前記利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算するステップとを具備することを特徴とする予約サービス提供方法。

【請求項 9】 ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より前記予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供方法のプログラムを記録した記録媒体において、

20 前記予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金情報を予約管理データベースへ格納するステップと、

利用者が前記予約サービスを利用して予約する度に、前記予約管理データベースより参照される前記利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算するステップとを実行するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より、その予約要求の確認を受け付ける予約サービス提供サーバ、予約サービス提供方法およびその記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットの普及と共に、ネットワーク接続可能な端末より、ネットワークを介して予約を受け付けるシステムが利用されている。これにより、利用者は、予約したい店舗の営業時間外でも予約可能となった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来は予約キャンセルした利用者に簡便に課金するシステムがなかった為、店舗としては利用者より確実な予約を受けることが難しかった。

【0004】この発明は、上述した事情を考慮してなされたもので、予約キャンセルした利用者に簡便に課金することで、利用者より確実な予約を受ける予約サービス提供サーバ、予約サービス提供方法およびその記録媒体

を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は、上述した課題を解決すべくなされたもので、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より該予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供サーバであって、予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金情報を格納する予約管理データベースと、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベースより参照される該利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算する予約金処理手段とを具備することを特徴とする。

【0006】これにより、各利用者の予約金情報を格納する予約管理データベースと、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベースより参照される該利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算する予約金処理手段とを具備するので、予約キャンセルの増大を防ぐ為の、予約時の利用者への課金を行うことができる。

【0007】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予め各店舗の店舗端末より利用者情報を登録させる利用者情報処理手段と、店舗に固有の店舗IDと関連付けて利用者情報を更に格納する予約管理データベースと、利用者へ予約したい店舗の指定と利用者IDおよびパスワードの入力を促す入力画面を前記利用者端末へ表示する入力画面表示手段と、利用者により指定された店舗の店舗IDに関連付けられて予約管理データベースに格納される利用者情報を基に、利用者より入力された利用者IDおよびパスワードの正誤を検証する入力情報処理手段とを更に具備することを特徴とする。

【0008】これにより、予め各店舗の店舗端末より利用者情報を登録させる利用者情報処理手段と、店舗に固有の店舗IDと関連付けて利用者情報を更に格納する予約管理データベースと、利用者へ予約したい店舗の指定と利用者IDおよびパスワードの入力を促す入力画面を利用者端末へ表示する入力画面表示手段と、該利用者の利用者情報を参照し、利用者より入力された利用者IDおよびパスワードの正誤を検証する入力情報処理手段とを更に具備するので、各店舗毎に利用者情報の管理を行うことができ、また、利用者IDとパスワードで利用者を特定することができる。

【0009】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予め各店舗の店舗端末へ予約方法の設定を促す予約方法設定手段と、入力情報処理手段で正しいと検証された利用者へ、店舗端末より設定される予約方法での予約を促す予約処理手段を更に具備し、予約管理

データベースは、利用者により予約された予約情報を店舗IDと関連付けて更に格納することを特徴とする。

【0010】これにより、予め各店舗の店舗端末へ予約方法の設定を促す予約方法設定手段と、利用者へ店舗端末より設定される予約方法での予約を促す予約処理手段を更に具備し、予約管理データベースは、利用者により予約された予約情報を店舗IDと関連付けて更に格納するので、各店舗は各々の営業時間や店の規模に合った予約方法を設定でき、利用者へ予約サービスを提供することができる。また、店舗端末より予約管理データベースに格納される予約情報を読み出すことで、いつでも予約状況を確認できる。

【0011】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約管理データベースは、利用者IDと関連付けて予約金の残高を示す予約金情報を更に格納することを特徴とする。これにより、予約管理データベースは、利用者IDと関連付けて予約金の残高を示す予約金情報を更に格納するので、各利用者の予約金の残高を利用者IDによって管理できる。

【0012】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、予約時間から決められた一定時間を過ぎると予約取り消しとなる旨を利用者端末に表示し、該一定時間を任意に設定できることを特徴とする。これにより、予約方法設定手段は、予約時間から決められた一定時間を過ぎると予約取り消しとなる旨を利用者端末に表示し、該一定時間を任意に設定できるので、予約時間から一定時間以上遅刻した利用者を予約取り消しとみなすことができる。また、その一定時間を任意に設定することができる。

【0013】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、予約締め切り時間を任意に設定できることを特徴とする。これにより、予約方法設定手段は、予約締め切り時間を任意に設定できるので、店舗では、予約管理サーバへ予約確認の為にアクセスする頻度や、予約を受けてから準備に要する時間等を考慮した予約方法の設定を行うことができる。

【0014】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、各店舗における全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できることを特徴とする。これにより、予約方法設定手段は、各店舗における全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できるので、店舗では、曜日や記念日等の時期的な要素や、時間帯などを考慮して、全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できる。

【0015】また、本発明による予約サービス提供方法においては、ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供方法であって、予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金

10

20

30

40

50

情報を予約管理データベースへ格納するステップと、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベースより参照される利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算するステップとを具備することを特徴とする。

【0016】また、本発明による記録媒体においては、ネットワーク接続可能な利用者端末から予約要求を受け付け、各店舗に設置される店舗端末より予約要求の確認を受け付ける予約サービスを提供する予約サービス提供  
10 方法のプログラムを記録した記録媒体にあって、予約サービスを利用する前に、各利用者が納付した予約金の金額情報である予約金情報を予約管理データベースへ格納するステップと、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベースより参照される利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算するステップとを実行するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、発明の実施の形態を通じて本発明を説明する。ただし、以下の実施の形態は特許請求の範囲に記載された発明を限定するものではなく、また実施の形態の中で説明されている特徴の組み合わせのすべてが発明の解決手段に必要であるとは限らない。図1はこの発明の一実施形態による予約サービス提供の全体構成を示すブロック図である。この図において符号11は各店舗の店舗端末群（以下、店舗端末11）であり、ネットワーク10aを介して予約サービス提供サーバ12にアクセス可能である。予約サービス提供サーバ12は、利用者情報や予約情報を格納する予約管理DB（データベース）23を具備する。符号13は、各利用者が利用してネットワーク10bを介して予約サービス提供サーバ12へアクセス可能な利用者端末を表わす端末1、端末2、端末3、…（以下、端末13）である。利用者は、端末13より予約サービス提供サーバ12へネットワーク10bを介してアクセスすることで、利用  
30 したい店舗への予約を行うことができる。また、店舗側は、店舗端末11より予約サービス提供サーバ12へネットワーク10aを介してアクセスすることで、利用者より予約があるかどうかを確認することができる。

【0018】次に、予約サービス提供サーバ12について図2を用いて説明する。図2はこの発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ12の構成を示すブロック図である。符号21は予約サービス提供サーバ12内のデータの制御を行う制御部である。22はネットワーク10aを介して店舗端末11と通信を行う通信制御部22である。23は、利用者情報23a、予約情報23b、予約金情報23cを格納する予約管理データベースである。24は、予約処理を行う各処理プロ  
40

ラムを格納する予約処理プログラム部である。尚、通信制御部22は、秘匿性のある通信方式で店舗端末11と通信を行う機能を持たせてもよい。これにより、店舗端末11より予約サービス提供サーバ12へ登録される情報や、参照される情報の漏洩を防ぐことができる。

【0019】次に、予約管理データベース23に格納される各情報について説明する。利用者情報23aは、各店舗の利用客情報を店舗端末11より登録されたものであり、利用者ID、パスワード、利用者名等の情報である。次に、予約情報23bは、利用者より受け付けた予約の予約日、予約時間等の情報である。また、本実施形態では、予約の度に予約登録の為の課金処理を以下のように行う。上記課金の数回もしくは数十回分を予約金として利用者から預かり、利用者が予約する度に、予め決められた予約登録の課金分を減算する。予約金情報23cは、この時の各利用客についての予約金残量についての情報である。尚、利用者情報23a、予約情報23b、予約金情報23cは店舗IDに関連付けられて予約管理データベース23に格納されている。尚、上記予約金  
20 金の上限を設定することで、同じ利用者より一度に予約できる回数を制限することができる。これにより、同一利用者からの成りすましによる重複予約の被害を制限することができる。

【0020】次に、予約処理プログラム部24について説明する。予約金納付処理部24aは、利用者が本実施形態における予約サービスを利用する際に、利用者の端末13へ納付方法を指示することで、予め予約金を納付するよう利用者に促す。尚、納付方法は、専用口座への振込み、クレジットカードによる支払い、端末13が携帯端末の場合は携帯端末で行われている課金サービスの利用等、を用いて好適である。また、予約金処理部24bは、利用者が予約サービス提供サーバ12にアクセスし、予約をする度に該利用者が納付した予約金より、予め決められた予約登録の課金金額分を減算する。利用者情報処理部24cは、各店舗の店舗端末11へ登録用画面を表示することで、利用者ID、パスワード、利用者名等の利用者情報を登録するよう促す。尚、利用者情報処理部24cは、各店舗の店舗端末11からの指示により登録した利用者情報の更新や修正も行う。また、入力画面表示部24dは、利用者の端末13へ、予約したい店舗の店舗ID、その店舗に登録した利用者ID、パスワードを入力するよう促す入力画面を表示させる。また、入力情報処理部24eは、利用者の端末13より入力された利用者ID、パスワードの正誤を、利用者情報23aを参照して検証する。また、予約方法設定部24fは、各店舗の店舗端末11より予め、曜日別の予約できる時間帯（営業時間）、予約時間幅、予約人数の定員数、予約締め切り時間、予約取り消しとなる利用客の遅刻時間幅、全客席に対する予約席の割合等の設定をするよう促す。予約処理部24gは、上記各店舗が設定した  
50

予約方法で予約できる予約画面を利用者の端末 13 へ表示することで、利用者へ予約を促す。

【0021】尚、上記に示したこれらの各処理部は専用のハードウェアにより実現されるものであってもよく、また、各処理部はメモリおよびCPU（中央演算装置）により構成され、各処理部の機能を実現する為のプログラムをメモリにロードして実行することによりその機能を実現させるものであってもよい。また、上記メモリは、ハードディスク装置や光磁気ディスク装置、フラッシュメモリ等の不揮発性のメモリや、CD-ROM等の読み出しのみが可能な記録媒体、RAM（Random Access Memory）のような揮発性のメモリ、あるいはこれらの組み合わせによるコンピュータ読み取り、書き込み可能な記録媒体より構成されるものとする。

【0022】次に、上述した予約サービス提供サーバ 12 の動作を図 3、図 4、図 5 を用いて説明する。まず、店舗端末 11 からの予約方法の設定について説明する。図 3 は、店舗端末 11 から予約サービス提供サーバ 12 へ設定される予約方法の一例を示す図である。図 3

(a) は、利用客の平均利用時間等を考慮して決める”予約の時間間隔”を 15 分、予約締め切りを何時間前、何日前、何ヶ月前と種々の尺度で設定できる”締め切り前時間”を 30 分前、店舗の全席数や予約席の割合で決まる”定員数”を 3 人と設定した場合において、6 月 14 日の 8 時 45 分における予約状況を確認する予約表を表示した例である。尚、予約方法の設定パラメータ（上記）”で示した、予約の時間間隔、締め切り前時間、定員数）の設定を促す画面は、予約方法設定部 24 f が各店舗端末 11 へ送信する。上記の予約表について説明すると、時間 31 は、”予約の時間間隔”の設定通り 15 分単位で区切られている。また、定員 32 も設定通り 3 人となっている。また、予約 33 は、現時点での予約人数を表わしている。また締め切り 34 にある\*は、現時点の時刻が 8 時 45 分であり、設定された”締め切り前時間”が 30 分であるから、9:15 までの予約が締め切られたことを表わしている。

【0023】また、図 3 (b) は、曜日毎の営業時間の設定例を示す表である。開始時間 35 の欄に開始時間を入力し、終了時間 36 の欄に終了時間を入力することで、図 3 (a) の時間 31 に示すような営業時間を考慮した予約表を作成できる。尚、図中の土曜日と日曜日は”0000”が入力されているが、この日は休業日である。この例のように決められた数字で休業日を示してもよい。以上により店舗端末 11 からの予約方法の設定が行われ、利用者はその予約方法に従って予約を行う。尚、予約方法の設定パラメータは上記に示した以外にも、予約を受け付ける商品、サービス等を一覧メニューから選択できるようにしてもよい。更には、何がどこまで予約できるか店舗ごとに決めて設定できるようにしても

よい。また、図 3 (a) に示した予約表は、主に利用者の端末 13 から予約状況を確認するために参照するものである。更に、店舗端末 11 からの参照専用の予約表を用意してもよく、図 3 (a) に示した予約表に更に予約した利用者の利用者 ID または利用者名を表示する列を設けたり、予約した順に利用者へ予約番号を付加し表示する列を設けてもよい。ここで、予約番号を確認することで、余裕を持って予約してくれる利用者を識別し、その利用者へ特別なサービスを提供してもよい。

【0024】次に、利用者より予約があった場合の予約サービス提供サーバ 12 の動作を図 4 および図 5 を用いて説明する。図 4 は、本発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ 12 の動作を示す動作フロー図である。図 5 は、本発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ 12 より端末 13 へ配信される画面例の図である。まず、予約サービス提供サーバ 12 の入力画面表示部 24 d は、利用者の端末 13 へ図 5 (a) に示されるログイン画面を送信する（ステップ S1）。ここで利用者は予約したい店舗を特定する店舗 ID、利用者 ID、パスワードなどのログイン情報を入力する。入力を終わると、ログイン情報は予約サービス提供サーバ 12 へ送信される。次に、入力情報処理部 24 e は、そのログイン情報の正誤を、予約管理データベース 23 に格納される利用者情報 23 a を参照することで検証する（ステップ S2）。ここでログイン情報が誤っていた場合（ステップ S2 の NO）、利用者のログインを禁止する。また、ログイン情報が正しかった場合（ステップ S2 の YES）、利用者はログインを許可され、次のステップへ進む。次に、予約処理部 24 g は、図 5 (b) で示す上記で指定された店舗により設定された予約方法の予約画面を、利用者の端末 13 へ表示させ、入力を促す（ステップ S3）。この時、予約画面には、図 5 (b) で示すように利用者の予約金残高も表示される。

【0025】ここで、利用者は予約したい予約日と予約時間を入力し、予約申込みか予約状況の照会かのどちらかを選択する（ステップ S4）。また、ここで照会选择した場合（ステップ S4 の照会）、予約処理部 24 g は、図 5 (d) に示す予約照会画面を利用者の端末 13 へ表示する。図 5 (d) に示すように指定した予約日、予約時間における定員数（店舗の方で設定した予約方法で決まる）、現時点での予約数、指定した予約日、予約時間の予約ができる制限日時である締め切り、の 5 項目が表示される。また、ここで申込みを選択した場合（ステップ S4 の申込み）、予約処理部 24 g は、予約の申込みを受け付け、予約できるかどうか予約管理データベース 23 に格納される予約情報 23 b より判断する（ステップ S5）。尚、予約状況の照会である場合（ステップ S4 の照会）は、予約日のみの入力でも可とし、予約時間は入力してもしなくてもよいものとする。

【0026】次に、予約処理部 24 g は、予約できない

場合はその旨のメッセージを、予約できる場合は図 5

(c) に示す予約申込みの確認画面を利用者の端末 1 3 に送信する (ステップ S 6)。次に、利用者は図 5

(c) に示される予約内容を確認し、間違いなければ確認の欄の Y を選択する。また、確認の結果、間違っていれば確認の欄の N を選択する (ステップ S 7)。確認した予約内容が間違い無い場合 (ステップ S 7 の Y)、この選択結果を予約サービス提供サーバ 1 2 が受信し、予約処理部 2 4 g は、上記の予約を予約情報 2 3 b へ店舗 I D と関連付けて格納し、予約金情報 2 3 c を参照して、今回の予約による課金分を予約金残高より減算する (ステップ S 8)。以上により利用者からの予約が完了する。

【0027】尚、予約により予約金残高より減算された課金分は、利用者が予約通り店舗を利用した場合は、現金での返還を行う。または、各店舗で決められたサービスや特典を提供してもよい。また、各店舗で各利用者の来店頻度をデータベースにできるので、来店頻度に合わせた特典やサービスを提供してもよい。また、予約をキャンセルした利用者には、予約により予約金残高より減算された課金分を、予約キャンセル料金として、店舗が徴収する。また、店舗端末 1 1 が、予約サービス提供サーバ 1 2 へアクセスし利用する為のソフトウェアは、Web ブラウザ等でもよく、また、予約サービス提供サーバ 1 2 が A S P (アプリケーション・サービス・プロバイダ) 機能を更に備えて、専用ソフトウェアを配信することで実現してもよい。

【0028】また、図 2 における予約処理プログラム部 2 4 で各種処理を行う処理部の機能を実現する為のプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより各処理を行っても良い。なお、ここでいう「コンピュータシステム」とは、OS や周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータシステム」とは、WWW システムを利用している場合であれば、ホームページ提供環境 (あるいは表示環境) も含むものとする。

【0029】また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フロッピー (登録商標) ディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM 等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムが送信された場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発メモリ (RAM) のように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。

【0030】また、上記プログラムは、このプログラムを記憶装置等に格納したコンピュータシステムから、伝送媒体を介して、あるいは、伝送媒体中の伝送波により

他のコンピュータシステムに伝送されてもよい。ここで、プログラムを伝送する「伝送媒体」は、インターネット等のネットワーク (通信網) や電話回線等の通信回線 (通信線) のように情報を伝送する機能を有する媒体のことをいう。また、上記プログラムは、前述した機能の一部を実現する為のものであっても良い。さらに、前述した機能をコンピュータシステムに既に記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるもの、いわゆる差分ファイル (差分プログラム) であっても良い。以上、この発明の実施形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計等も含まれる。

【0031】

【発明の効果】以上説明したように本発明による予約サービス提供サーバにおいては、各利用者の予約金情報を格納する予約管理データベースと、利用者が予約サービスを利用して予約する度に、予約管理データベースより参照される該利用者の予約金情報である予約金残高より、予め決められた一定額の予約登録に伴う課金分を減算する予約金処理手段とを具備するので、予約キャンセルの増大を防ぐ為の、予約時の利用者への課金を行うことができる。以上により店舗は予約キャンセルによる損害を減少できる効果がある。また、利用者にとっても、「本当は行きたい所が別にあるが、取りあえずの予約」のような予約が減ることで、より予約しやすくなる効果がある。

【0032】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予め各店舗の店舗端末より利用者情報を登録させる利用者情報処理手段と、店舗に固有の店舗 I D と関連付けて利用者情報を更に格納する予約管理データベースと、利用者へ予約したい店舗の指定と利用者 I D およびパスワードの入力を促す入力画面を利用者端末へ表示する入力画面表示手段と、該利用者の利用者情報を参照し、利用者より入力された利用者 I D およびパスワードの正誤を検証する入力情報処理手段とを更に具備するので、各店舗毎に利用者情報の管理を行うことができ、また、利用者 I D とパスワードで利用者を特定することができる。以上により、利用者に為りすまして予約しようとしても、パスワードを知らない限り予約できないので、安全性が増すという効果がある。

【0033】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予め各店舗の店舗端末へ予約方法の設定を促す予約方法設定手段と、利用者へ店舗端末より設定される予約方法での予約を促す予約処理手段を更に具備し、予約管理データベースは、利用者により予約された予約情報を店舗 I D と関連付けて更に格納するので、各店舗は各々の営業時間や、店舗の規模や、店舗で扱う商品やサービス内容に合った予約方法を設定でき、従来、予約システムを導入していなかった店舗でも簡便に利用

10

20

30

40

50

者へ予約サービスを提供することができる。また、店舗端末より予約管理データベースに格納される予約情報を読み出すことで、いつでも予約状況を確認できる。以上により、予約サービスをしたいが、人手やシステムの構築費用がなくて諦めていた店舗においても、店舗端末を用意するだけで、簡便にしかも自分の店舗にあった予約システムを構築できる。

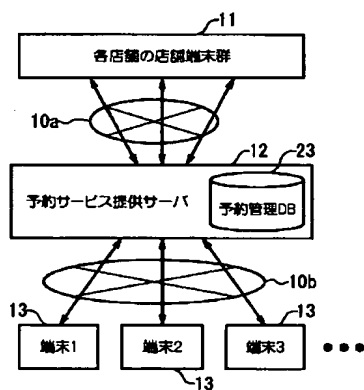
【0034】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、予約時間から決められた一定時間を過ぎると予約取り消しとなる旨を利用者端末に表示し、該一定時間を任意に設定できるので、予約時間から一定時間以上遅刻した利用者を予約取り消しと見なすことができる。また、その一定時間を任意に設定することができる。以上により、利用者へ遅刻することへの注意を促し、予約席が空席である時間を短縮する効果がある。

【0035】また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、予約締め切り時間を任意に設定できるので、店舗では、予約管理サーバへ予約確認の為にアクセスする頻度や、予約を受けてから準備に要する時間等を考慮した予約方法の設定を行うことができる。また、本発明による予約サービス提供サーバにおいては、予約方法設定手段は、各店舗における全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できるので、店舗では、曜日や記念日等の時期的な要素や、時間帯などを考慮して、全客席に対する予約客席の割合を任意に設定できる。以上により、各店舗の規模や経営方針に合った予約システムを簡便に構築できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態による予約サービス提供

【図1】



の全体構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ12の構成を示すブロック図である。

【図3】 本発明の一実施形態による店舗端末11から予約サービス提供サーバ12に設定される予約方法の一例を示す図である。

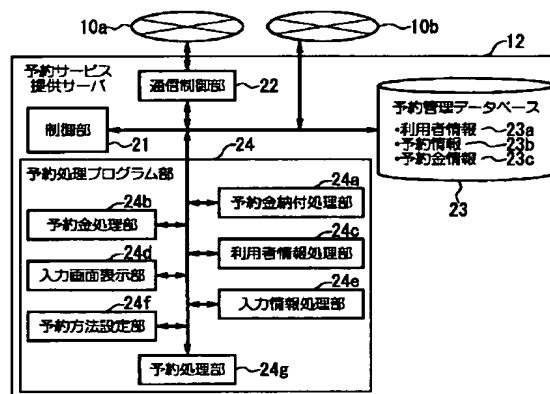
【図4】 本発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ12の動作を示す動作フロー図である。

【図5】 本発明の一実施形態による予約サービス提供サーバ12より端末13へ配信される画面例の図である。

【符号の説明】

- 10a、10b ネットワーク
- 11 各店舗の店舗端末群（店舗端末）
- 12 予約サービス提供サーバ
- 13 端末1、端末2、端末3、…（利用者端末）
- 21 制御部
- 22 通信制御部
- 23 予約管理データベース
- 23a 利用者情報
- 23b 予約情報
- 23c 予約金情報
- 24 予約処理プログラム部
- 24a 予約金納付処理部
- 24b 予約金処理部
- 24c 利用者情報処理部
- 24d 入力画面表示部
- 24e 入力情報処理部
- 24f 予約方法設定部
- 24g 予約処理部

【図2】





【図3】

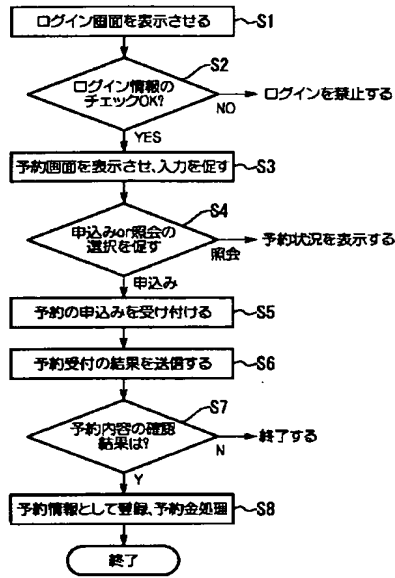
日	時間	定員	予約	締切
0614	9:00	3	2	*
0614	9:15	3	3	*
0614	9:30	3	2	
0614	9:45	3	2	
0614	16:15	3	2	
0614	16:30	3	2	
0614	16:45	3	3	

(a)

曜日	開始時間	終了時間
月	0900	1600
火	0900	1600
水	0900	1200
木	0900	1600
金	0900	1600
土	0000	0000
日	0000	0000

(b)

【図4】



【図5】

店舗ID
利用者ID
パスワード

(a)

予約金残高
予約日
予約時間
申込み照会

(b)

予約申込み
受付番号
利用者ID
利用者名
予約日
予約時間
確認YorN

(c)

予約照会
日
時間
定員数
予約数
締切

(d)